国土交通省　東北地方整備局
青森河川国道事務所
Aomori office of river & National highway

記者発表
Press Release

令和８年　７月　８日
岩木川水系洪水予報・水防連絡会
馬淵川水系洪水予報・水防連絡会
（事務局）青森河川国道事務所

岩木川と馬淵川で水防工法訓練を実施します

～ 洪水被害を最小限に抑えるために ～

洪水が発生した時の被害を防止あるいは最小限に抑えるためには、迅速かつ的確な水防活動が不可欠です。

岩木川及び馬淵川水系洪水予報・水防連絡会では、洪水の発生に備えて水防技術の向上を図るため、流域市町村の水防団員及び関係機関職員による水防工法の訓練を実施します。

【岩木川及び馬淵川水系洪水予報・水防連絡会の概要】
岩木川及び馬淵川水系における洪水被害の防止・軽減のため、洪水予報、水防に関する連絡調整等の円滑化を図ることを目的として、流域内の市町村・青森県・青森地方気象台・国土交通省ほか各関係機関により構成されています。

◆馬淵川水系水防工法訓練
実施日時：令和８年７月１２日（日）１３：３０～１６：００（予定）
実施場所：八戸市大字長苗代字内舟渡地先
　　馬淵川左岸河川敷（大橋上流）　（別紙１　位置図参照）
参 加 者：馬淵川流域市町村の水防団員及び関係機関職員等
訓練内容：①ロープワーク（縄結び）、土のう作り
　　②水防工法【シート張り工、月の輪工】

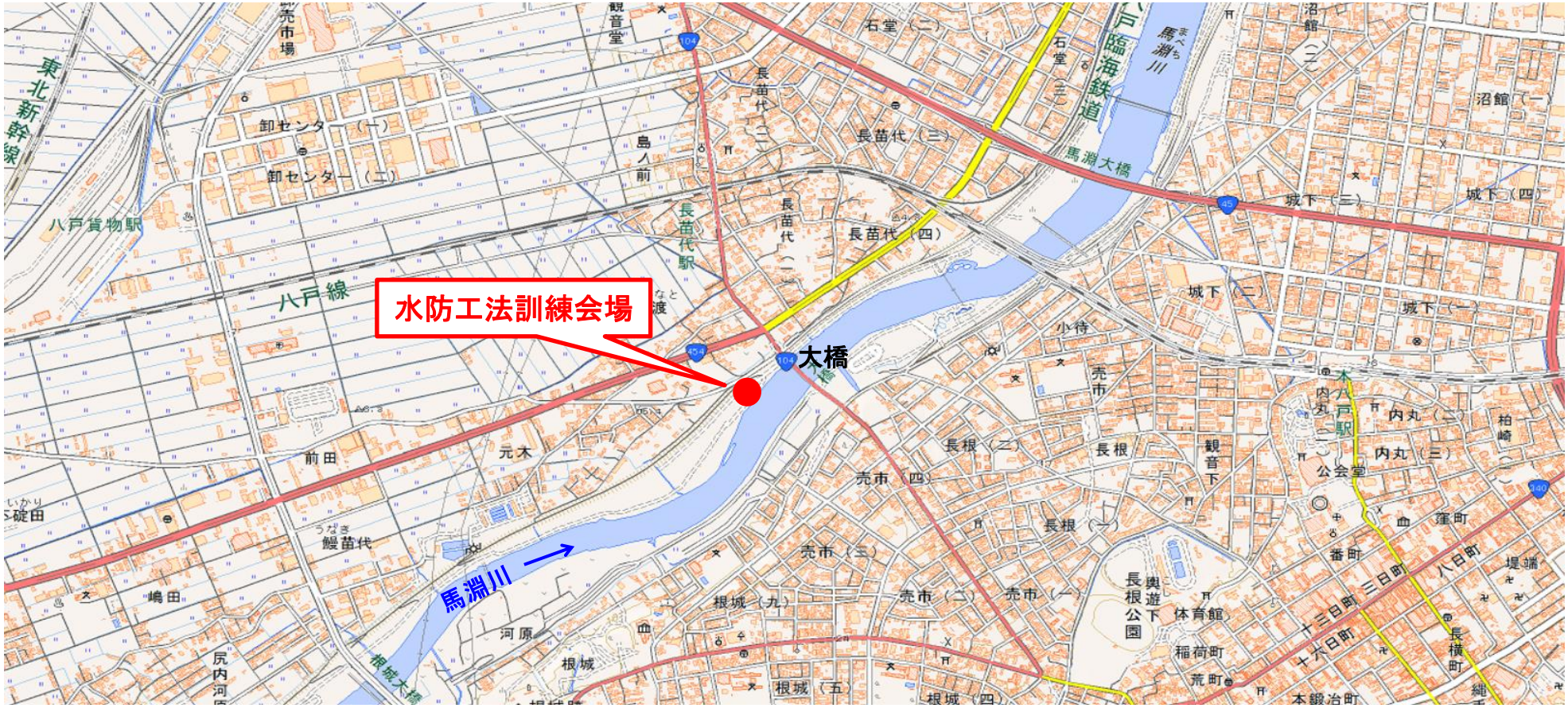
◆岩木川水系水防工法訓練
実施日時：令和８年７月２６日（日）１３：３０～１６：００（予定）
実施場所：鶴田町野木東松虫地先
　　岩木川左岸河川敷（保安橋下流）　（別紙２　位置図参照）
参 加 者：岩木川流域市町村の水防団員及び関係機関職員等
訓練内容：①ロープワーク（縄結び）、土のう作り
　　②水防工法【シート張り工、月の輪工】

〇当日の気象状況によっては訓練を延期する場合があります。
〇７月１２日（日）馬淵川水系水防工法訓練には、水防団員等１００人が参加します。

《発表記者会：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社》

〈問い合わせ先〉
国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所
電話 ０１７－７３４－４５２１（代表）
技術副所長（河川） 武田（たけだ） 桂輔（けいすけ）（内線２０４）
河川管理課長 福士（ふくし） 高義（たかよし）（内線３３１）

別紙 1　馬淵川水系水防工法訓練　会場位置図

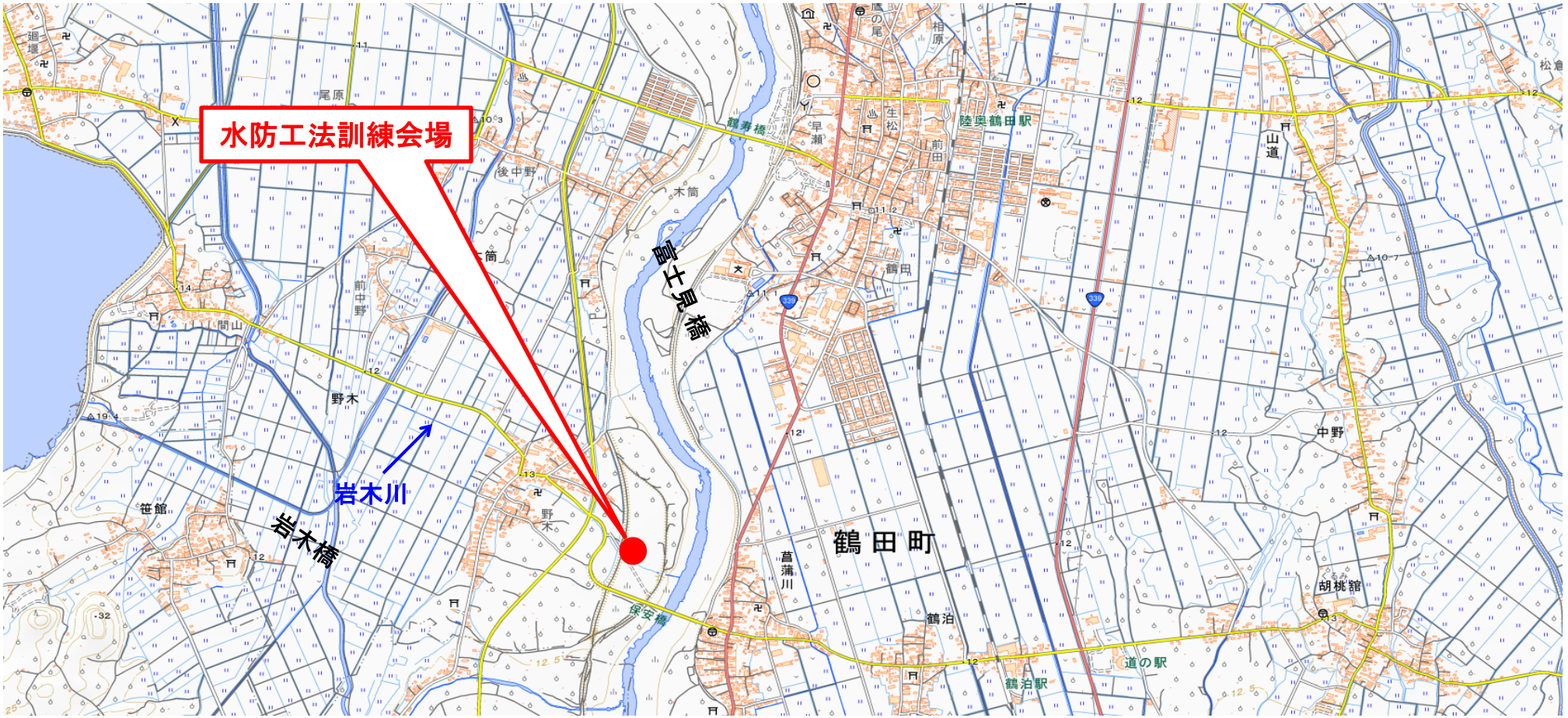


出典：地理院地図に会場位置等を記載して掲載

日時：　令和8年 7月 12日（日）
　　13時 00分　受付
　　13時 30分　開始

場所：　八戸市大字長苗代字内舟渡地先
　　馬淵川左岸河川敷（大橋上流）

別紙２　岩木川水系水防工法訓練　会場位置図



出典：地理院地図に会場位置等を記載して掲載

日時：　令和8年　7月　26日（日）
　　13時 00分　受付
　　13時 30分　開始

場所：　鶴田町野木東松虫地先
　　岩木川左岸河川敷（保安橋下流）

令和７年度実施状況

つなげよう！まもろう！ あおもりのかわとみち

令和７年７月１１日（金）第７８１号

青森河川国道ニュース

お問合せ先：国土交通省　青森河川国道事務所　〒０３０－０８２２　青森市中央三丁目２０－３８
地域づくり相談室　TEL017-734-4529　FAX017-722-2577

ご意見はこちらまで

“水防工法訓練”を実施



岩木川水系水防工法訓練
月の輪工の実施　（6月22日94名参加）】

洪水被害の防止・軽減することを目的とした岩木川水系及び、馬淵川水系の洪水予報・水防連絡会では、洪水の発生に備えて水防技術の向上を図るため、水防工法訓練を、地域市町村の水防（消防）団員及び関係機関職員、防災エキスパートの参加で実施しました。関係機関の皆様、雨や、暑い中大変ありがとうございました。



馬淵川水系水防工法訓練
（6月29日48名参加）】

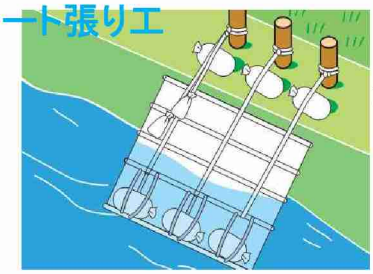
シート張り工の実施

月の輪工



■目的
増水中に堤防の居住側法面よる水の吹き出しが確認された場合に、漏水の噴出口に土のうを積んで水を溜め、河川水位と漏水口の水位差を縮小することで、水の噴出の勢いを抑え、漏水口の拡大を防ぎ堤防の決壊を防止する工法です。

シート張り工



■目的
川側の堤防崩壊、及び透水を防ぐ工法です。

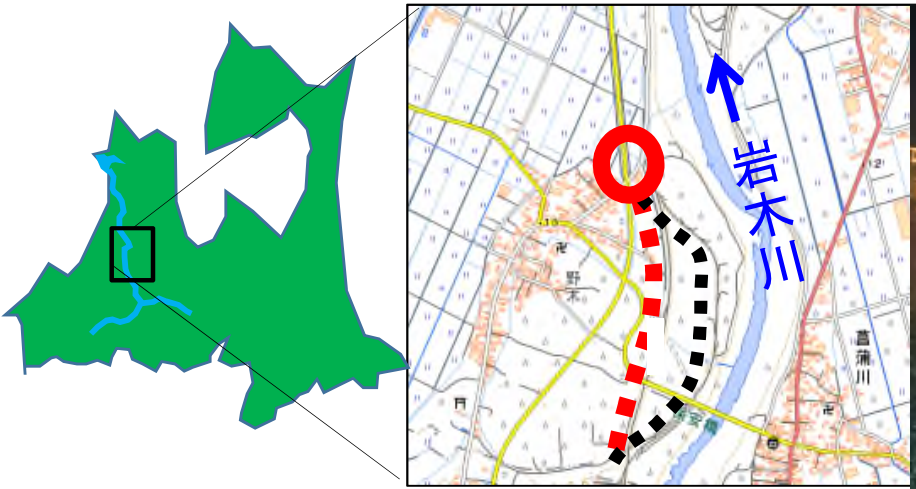
迅速な水防活動を行うことができるように、水防工法訓練では、土のう作り、ロープワークの講習、シート張り工、月の輪工の作成を実施しました。今後とも、継続して洪水被害の防止・軽減となる活動を実施していくよう努めてまいります。

［左岸35.6k］ 参考資料

岩木川水系岩木川における水防活動状況

［2022年8月9日］

・青森県鶴田町野木地先（岩木川左岸35.6k付近）は、令和5年度の完成を目指して堤防事業中。
・これから事業する箇所は一部で堤防が低いところがあるため、「重要水防箇所」として位置づけ、水防団と現地調査を行い要注意箇所や水防工法の確認を実施していた。
・今回の洪水は、近年で被害の大きかった平成25年9月洪水と同規模の恐れがあったため、**鶴田町水防団 野木分団（10名）が積み土のう工　（3段積み、L＝15m）を実施し、岩木川の氾濫を防いだ。**



鶴田左岸地区引堤(黒：旧堤、赤：新堤)









積み土のう工で岩木川の氾濫を防ぎ、**鶴田町やつがる市への氾濫を防ぐことが出来た**

